

# 市民俳歌柳壇

特選

姉卒寿畝三本の茄子育て

平松本町 伊藤 安

●特選の選評 作者のお姉さまは、今、卒寿(90歳)のこと。その事でさえすごい!と思うのに、畑に野菜を育てていらっしやる。それもナスを三畝も……。苗を植えてから、花が咲き、ナスが生り始め、実の色が付く、虫は?と毎日楽しみながらも覗く事は大変であるのに……。 「畝三本の茄子育て」の中に、作者のお姉さまを尊敬していらっしやるお気持ち伝わって来る。素晴らしい句に喝采である。

## 俳句



加茂都紀女先生

入選

睡蓮のぐうちよきはあをして咲きぬ

さつき3丁目 伊藤 純夫

飛石にしつぽ忘れた青蜥蜴

平松本町 川野 和美

男体をめがすがごとく鯉幟

下岡本町 荒川 玲子

ほうたるは畦に明かりを置き忘れ

針ヶ谷1丁目 糟屋 宮子

特選

喜びと悲しみ繕りて真直ぐに  
生き来し母よ文字摺草よ

清原台1丁目 三木 紋子

●特選の選評 「文字摺草」は、芝生などに見掛ける淡紅色の小花が螺旋状の可愛らしい花。喜びと悲しみを「繕りて」ねじり合わせ、「真直ぐに」直立・正直・強さを感じさせ、下の句を引いて来る。繰り返し「よ」の呼び掛け、詠嘆が効果を上げ、わが手許に引き寄せ、「文字摺草」「母」への愛を繕り合わせた一首となる。参考までに、振花のねぢれねぢれて素直なり 青木規子

## 短歌



安野登美子先生

入選

腹這ひて山清水飲みしばらくを  
そのままに臥す松蟬の声に

下岡本町 高尾 信尚

水滴を残して霞む夏の雨  
眞珠の如く柵に輝く

長岡町 赤羽 スミ

巫女舞の鈴の音聞こえてくるやうな  
柘の花揺る初夏の並木路

緑2丁目 片嶋 青水

えごの花泡立つ白波見るやうに  
たわわに揺れて風鈴のごと

下原町 和田 文男

特選

雷さまがお詫びに虹の置き土産

下栗町 土屋 勝美

●特選の選評 今年も雷雨の時季になった。この時季の雷は発生し始めると二、三日続くことがある。またかと雷をやり過ぎてしていると美しい虹が現れることがあり、あたかもそれは荒れ狂った雷の詫びの印の土産の様な気がする。

## 川柳



佐藤隆久先生

入選

雨止まぬ今日一日は本の虫

中岡本町 竹内 竹ノ花

いい服に唇キュツと写真館

城東1丁目 綱川 光江

フレイルの体鍛える方歩計

不動前2丁目 山中 ヒロ子

わが心今青春のジャズの街

下栗町 塩澤 多寿子

### 俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句(首)以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面=住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面=作品(漢字にはふりがなも)・作品への思い。
- 毎月20日までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市☎をご覧ください。

ID 1022877



▲市☎

表

〒320-8540  
宇都宮市役所  
広報広聴課  
住所・氏名・壇名  
ふりがな

裏

作品への思い  
作品への思い  
作品への思い